

1. 読解力向上のための「7つの指導のねらい」

ア テキストを理解・評価しながら読む力を高めること

- (ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成…①
- (イ) 評価しながら読む能力の育成…②
- (ウ) 課題に即応した読む能力の育成…③

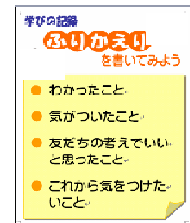
イ テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること

- (ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成…④
- (イ) 日常的・実用的な言語活動に生かす能力の育成…⑤

ウ 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること

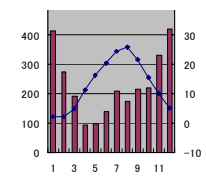
- (ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成…⑥
- (イ) 自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力の育成…⑦

書く力の育成



ふりかえりタイム

幅広いテキスト



グラフや表もテキスト

文部科学省 読解力向上プログラム「指導の改善の方向」より

2. 学校全体で「読解力」の育成を図るには

(1) 読解力について共通理解する

PISA「読解力」の問題を
実際に解いてみる。

(1) テキストの表現の仕方に着目する問題

- ①インフルエンザ 問4
- ②贈り物 問3
- ③贈り物 問7

(2) テキストを評価しながら読むことを必要とする問題

- ①インフルエンザ 問2
- ②落書き 問3
- ③落書き 問4

(2) 学校の現状を把握する

TK式学力テストの実施と考察

(3) テキストに基づいて、自分の考えや理由を述べる問題

- ①チャド湖 問3
- ②落書き 問2

(3) 3つの重点目標を確認する

『読解力向上に関する指導資料』をもとに、3つの重点目標と、ア(ア)～ウ(イ)までの7つの指導のねらいを確認する。

(4) 指導内容を明らかにする

【具体的な指導例の作成】

『読解力向上に関する指導資料』に掲載された具体的な指導例を参考に、各自、具体的な指導例を作成してみる。

【一定の学習形態として年間を通して指導】

・書く

「読解力」と言っても、「表現」(記述)をもって読解力を把握しているのだから、読解力の課題と思われていることは、実は表現力(書く力、話す力)の課題であることも多い。そのことも意識して、授業の改善を図っていく必要がある。

↓
普段の授業の中でちょっと書かせたり、ちょっとコメントさせたりする取り組みを、継続的に指導することが大切である。また、毎時間の授業の最後の数分間でその授業の学習を振り返って自分の考えを簡潔に書かせるような学習活動の積み重ねも大切である。